

## 様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月30日

岩手県知事

達 増 拓 也 殿

提出者

住 所 岩手県遠野市材木町1番2号

氏 名 松田建設株式会社

代表取締役 松 田 孝

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0198-62-2270

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称

松田建設株式会社

事業場の所在地

岩手県遠野市材木町1番2号

計画期間

令和 7年 4月 1日 ~ 令和 8年 3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類

06 総合工事業

②事業の規模

完成工事高 891百万円(令和5年6月1日~令和6年5月31日)

③従業員数

52名(令和7年4月1日現在)

④産業廃棄物の一連  
の処理の工程

別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)

岩手県  
県市広域振興局7.6.30  
花保セ第  
148-52-号

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<div>(管理体制図)</div> <div>別紙のとおり</div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	別紙のとおり	
	(これまでに実施した取組) ・ 余剰材の削減と再生利用。 ・ 現場事務所・本社事務所等では広告（FAX）・印刷ミス等の再生利用可能な用紙はリサイクル用紙として利用している。また、生活ごみの持ち帰りを行い、一般廃棄物の削減に努めている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	別紙のとおり	
	(今後実施する予定の取組) ・ 現状維持		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現場内に各々の保管場所(コンテナ等)を定め、分別に努めている。 ・ 分別用のコンテナ等設置出来ない場合は車両事務所敷地内に保管場所を定めている。 ・ 産業廃棄物の保管に関しては生活環境に影響を及ぼさないように適切に行う。 ・ 再生可能な産業廃棄物については、混合すると再生資源化や適正処理が困難になるので、現場では処理方法に応じた分別を徹底する。		
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現状維持	

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり	
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり	
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

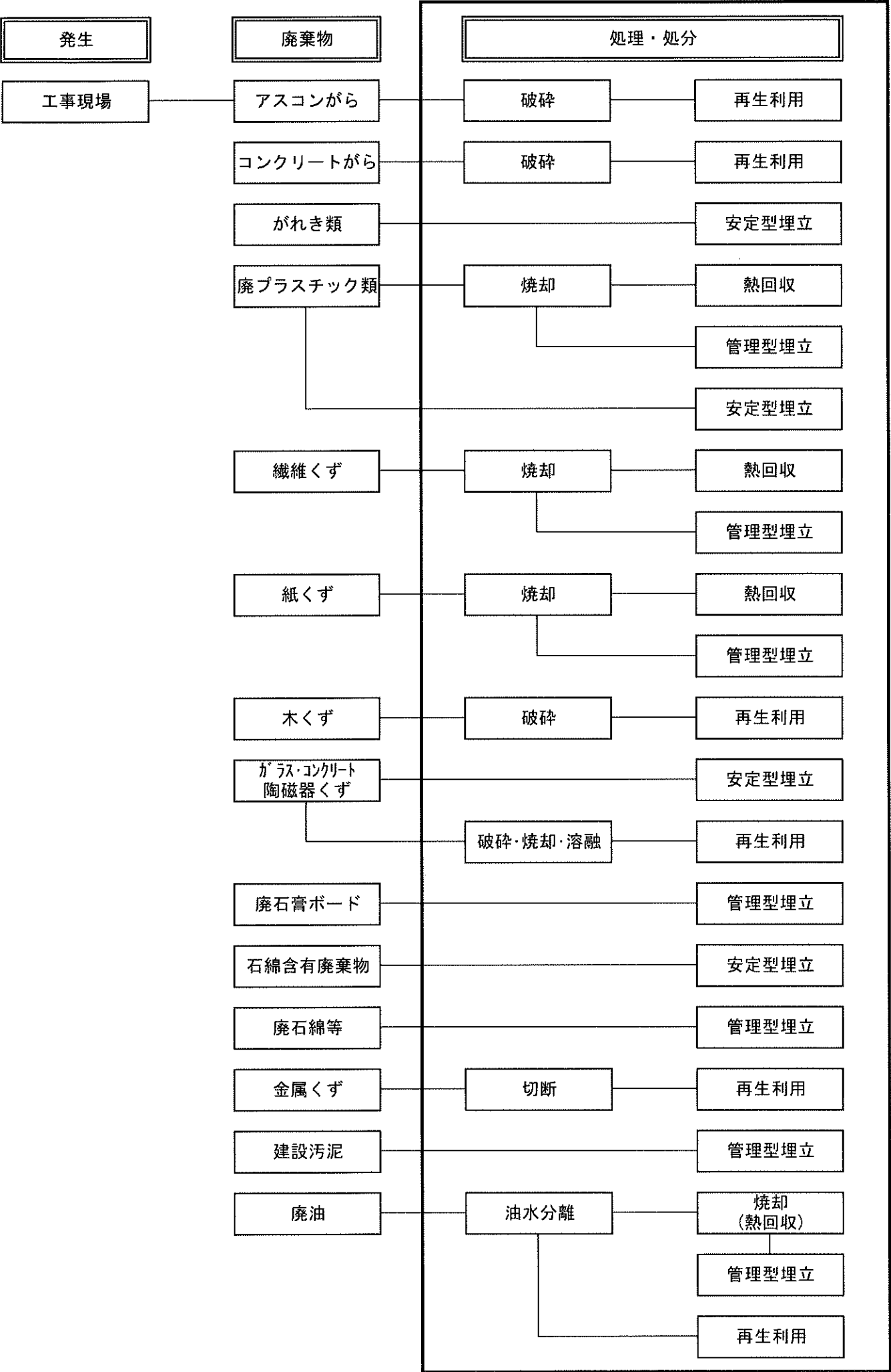
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	再生利用業者への処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 処理業者を選定する際には、処分許可の有無、品目・処理方法等の許可内容、事業の範囲、許可期限、最終処分場の所在地・能力・処理状況等の確認を行い、書面による契約を締結している。</li> <li>・ 発生した産業廃棄物を処理業者に委託する場合、収集運搬から処分に至るまで確認し的確に管理する。</li> <li>・ マニフェストの管理は徹底し、現場ごとファイルに綴る。</li> </ul>		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	
	(今後実施する予定の取組) ・ 現状維持		
※事務処理欄			

備考

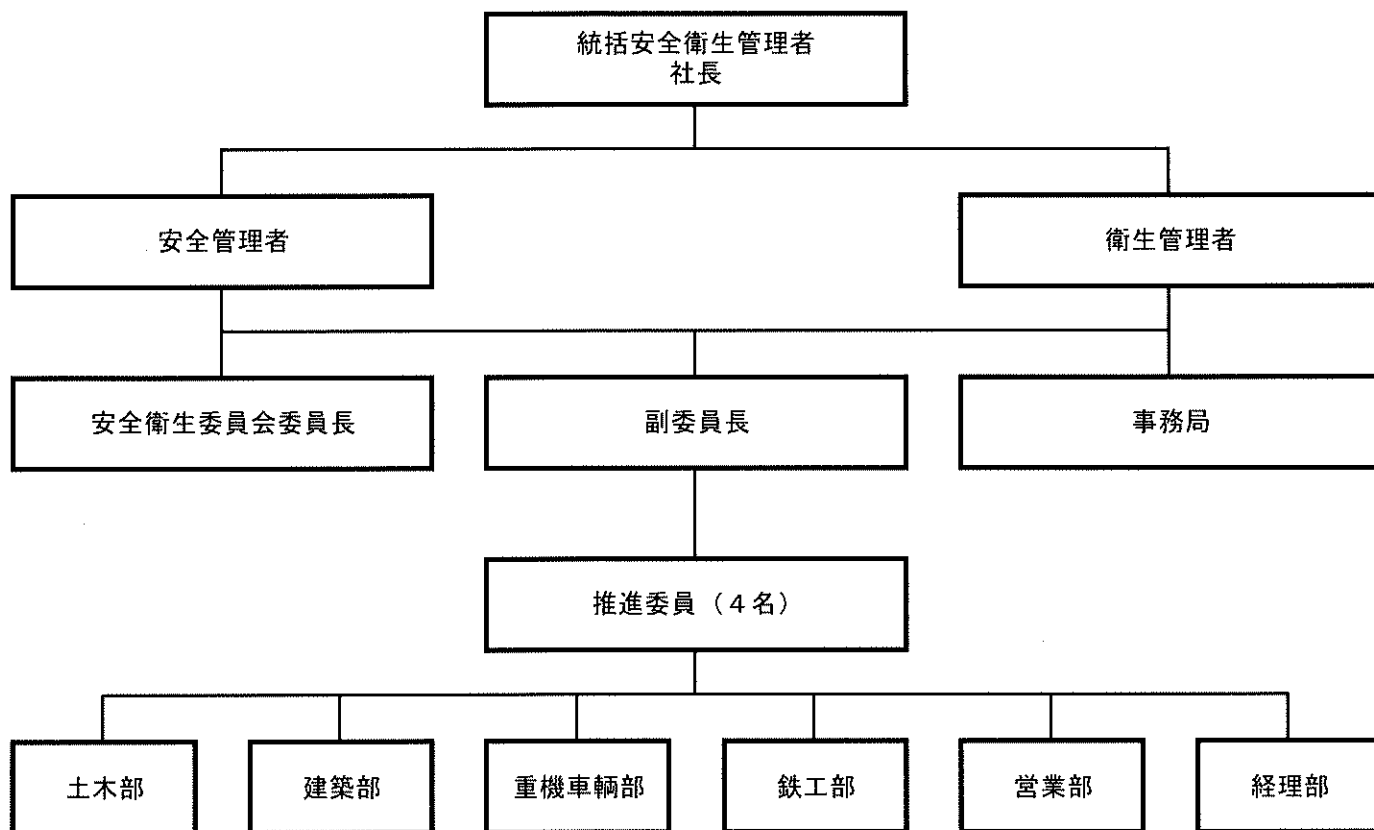
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の発生から処分までのフロー図



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

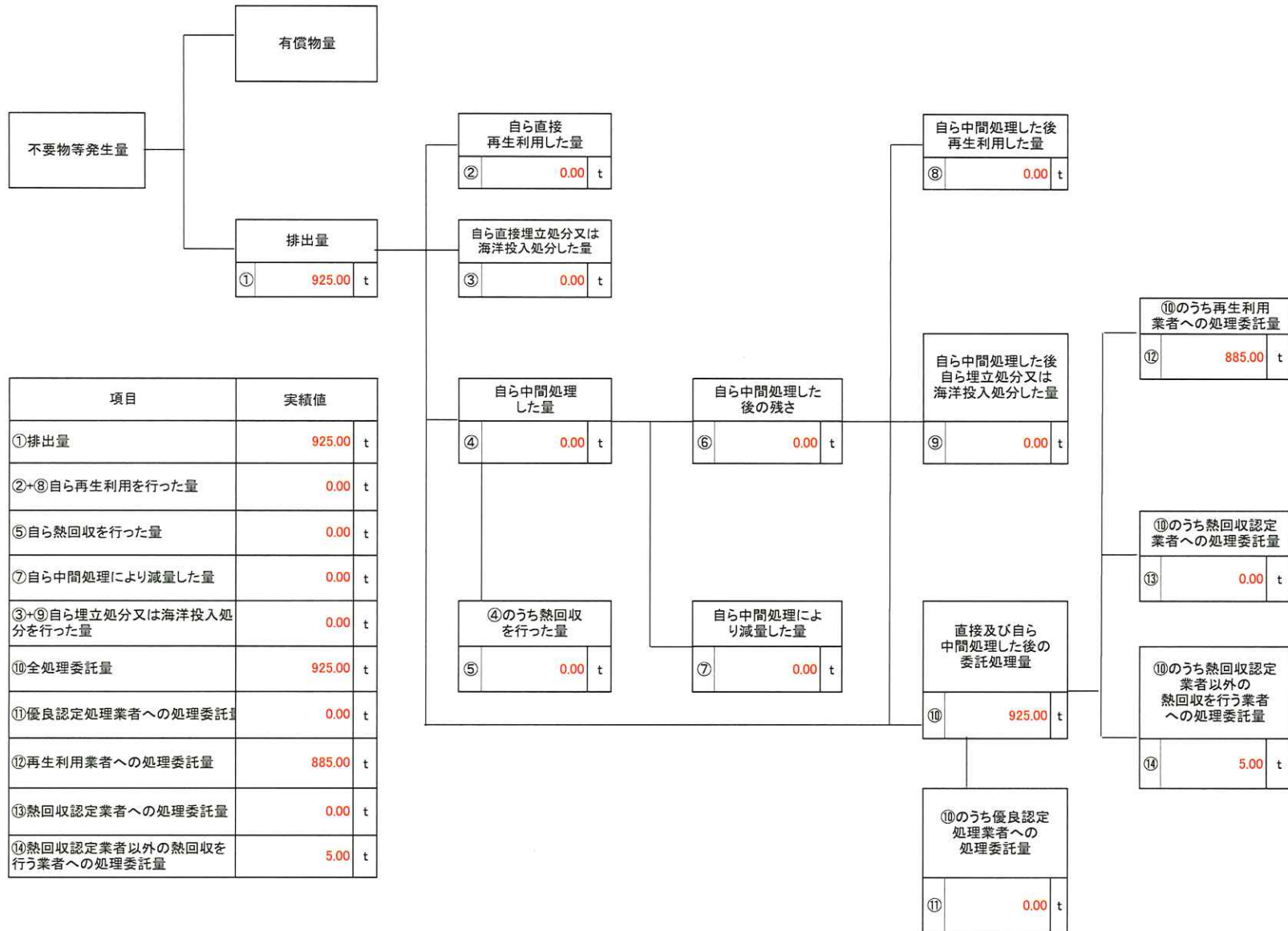
管理組織図





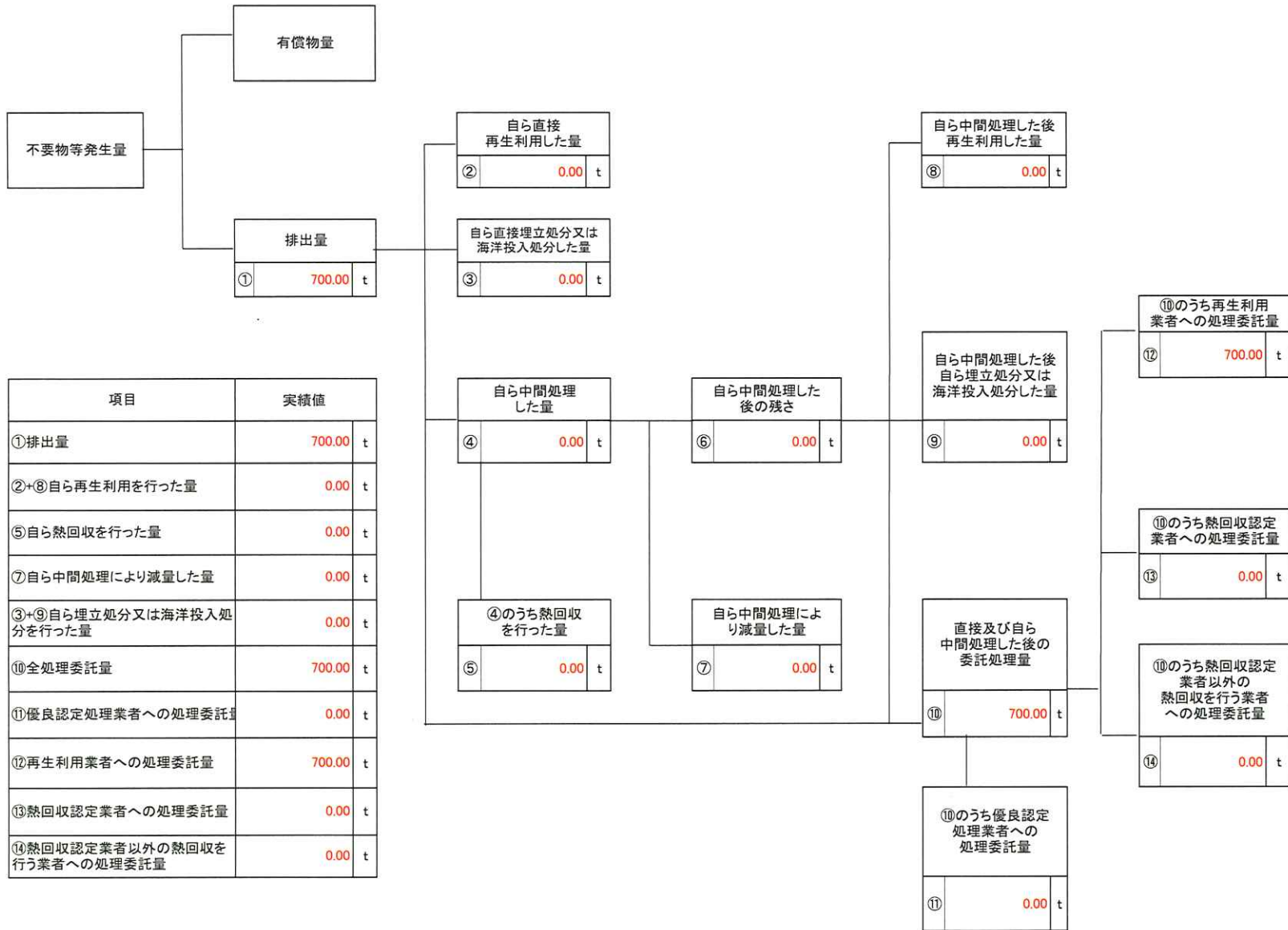
計画【目標】

(産業廃棄物の種類: 全体)



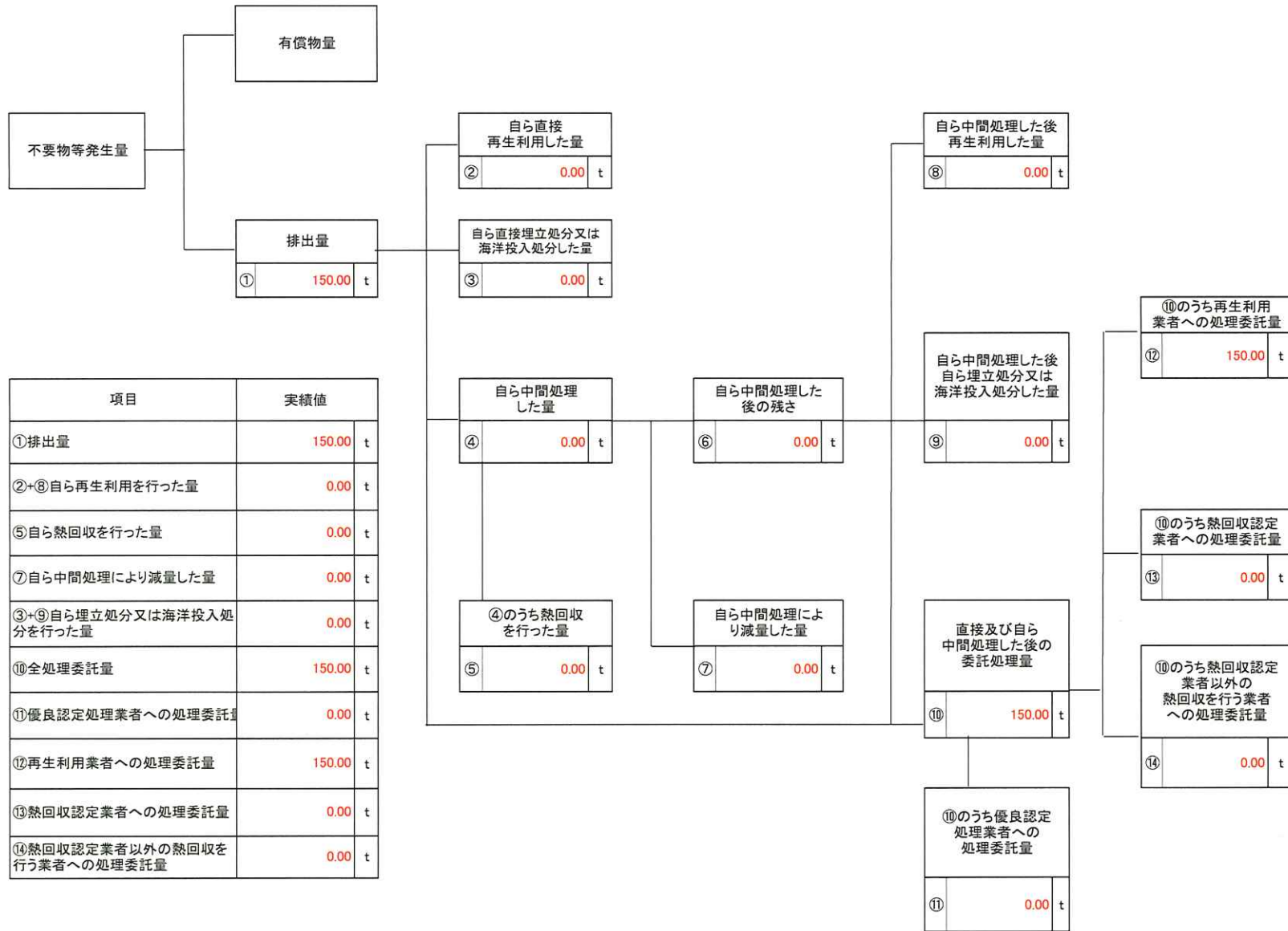
計画【目標】

(産業廃棄物の種類: アスコンから )



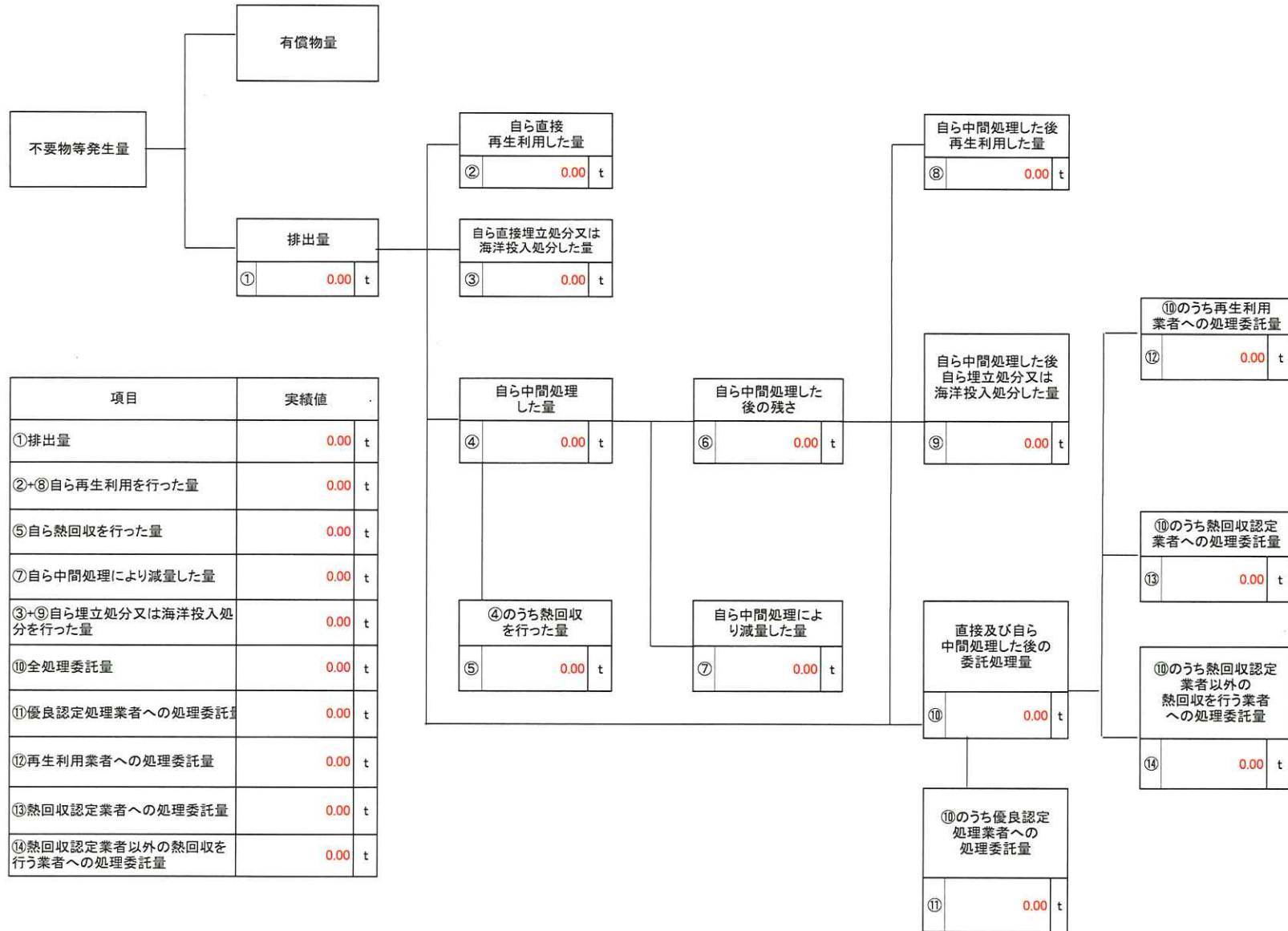
計画【目標】

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら )



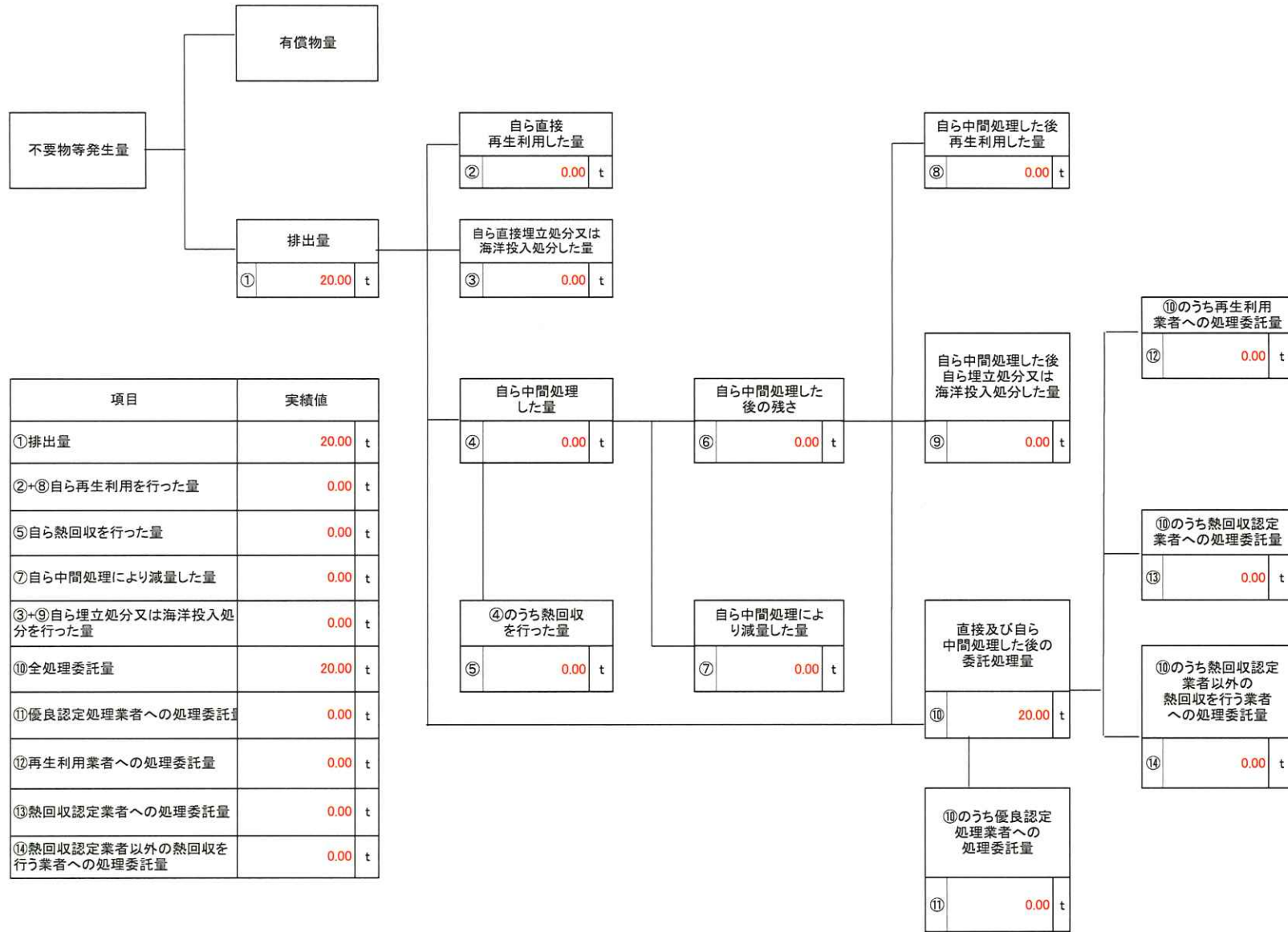
計画【目標】

(産業廃棄物の種類: 紙くず )



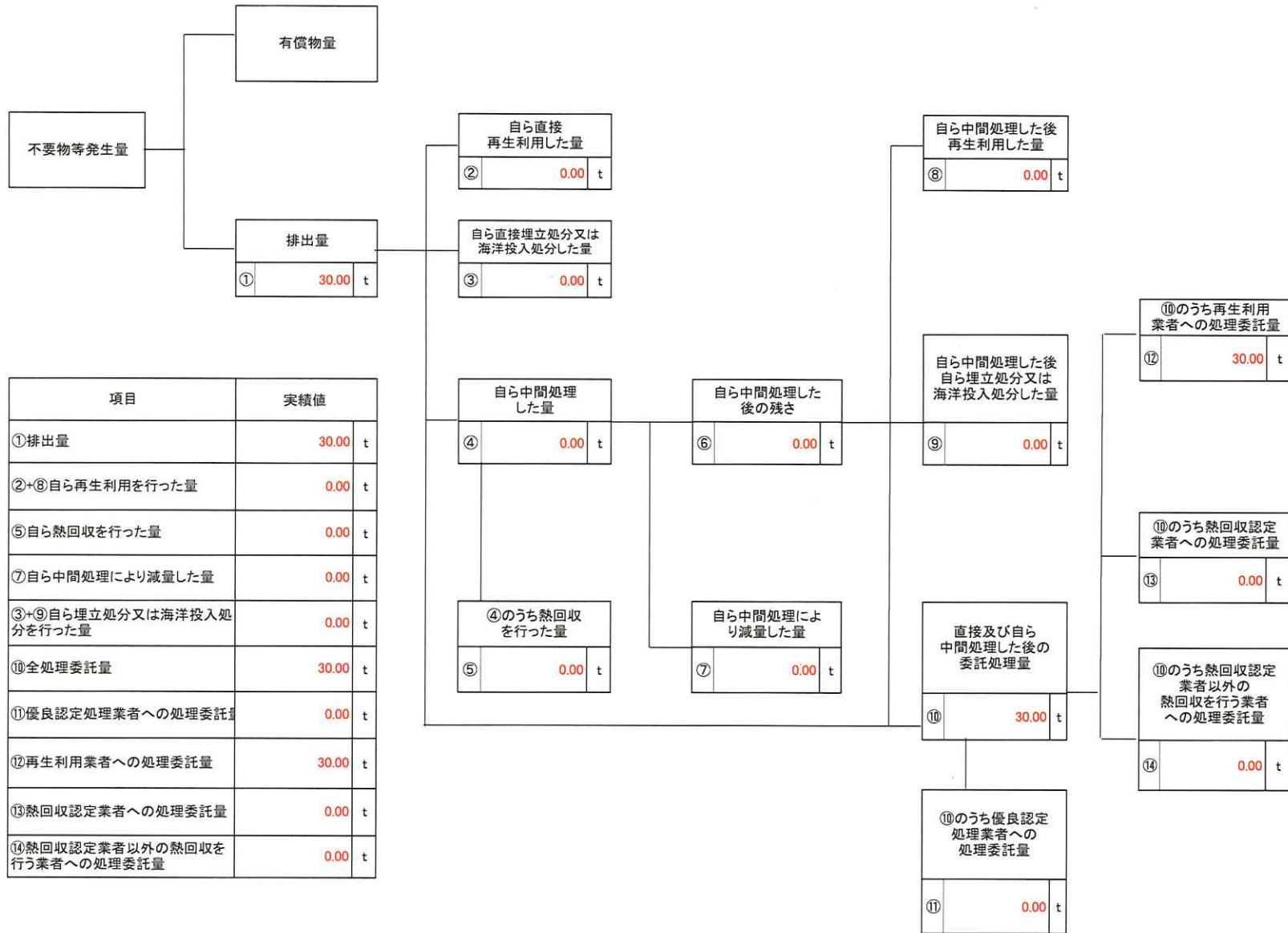
計画【目標】

(産業廃棄物の種類: がれき類)



計画【目標】

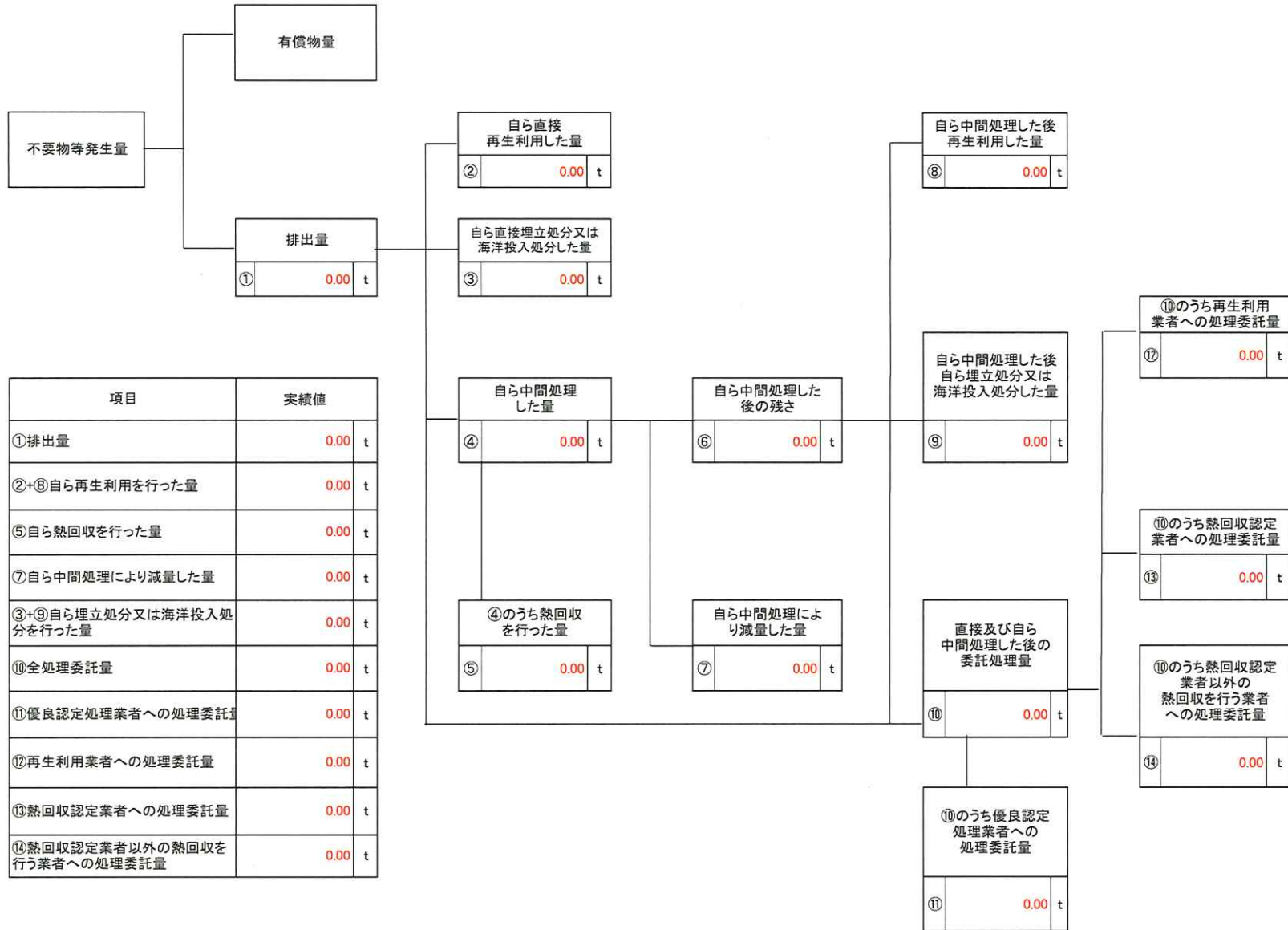
(産業廃棄物の種類: 木くず)





計画【目標】

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



計画【目標】

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

不要物等発生量

有償物量

排出量

自ら直接  
再生利用した量

② 0.00 t

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量

③ 0.00 t

自ら中間処理した後  
再生利用した量

⑧ 0.00 t

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量

⑨ 0.00 t

⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量

⑫ 5.00 t

⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑬ 0.00 t

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の  
熱回収を行う業者  
への処理委託量

⑭ 5.00 t

項目	実績値
①排出量	10.00 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	10.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	5.00 t

自ら中間処理  
した量

④ 0.00 t

自ら中間処理した  
後の残さ

⑥ 0.00 t

④のうち熱回収  
を行った量

⑤ 0.00 t

自ら中間処理によ  
り減量した量

⑦ 0.00 t

直接及び自ら  
中間処理した後の  
委託処理量

⑩ 10.00 t

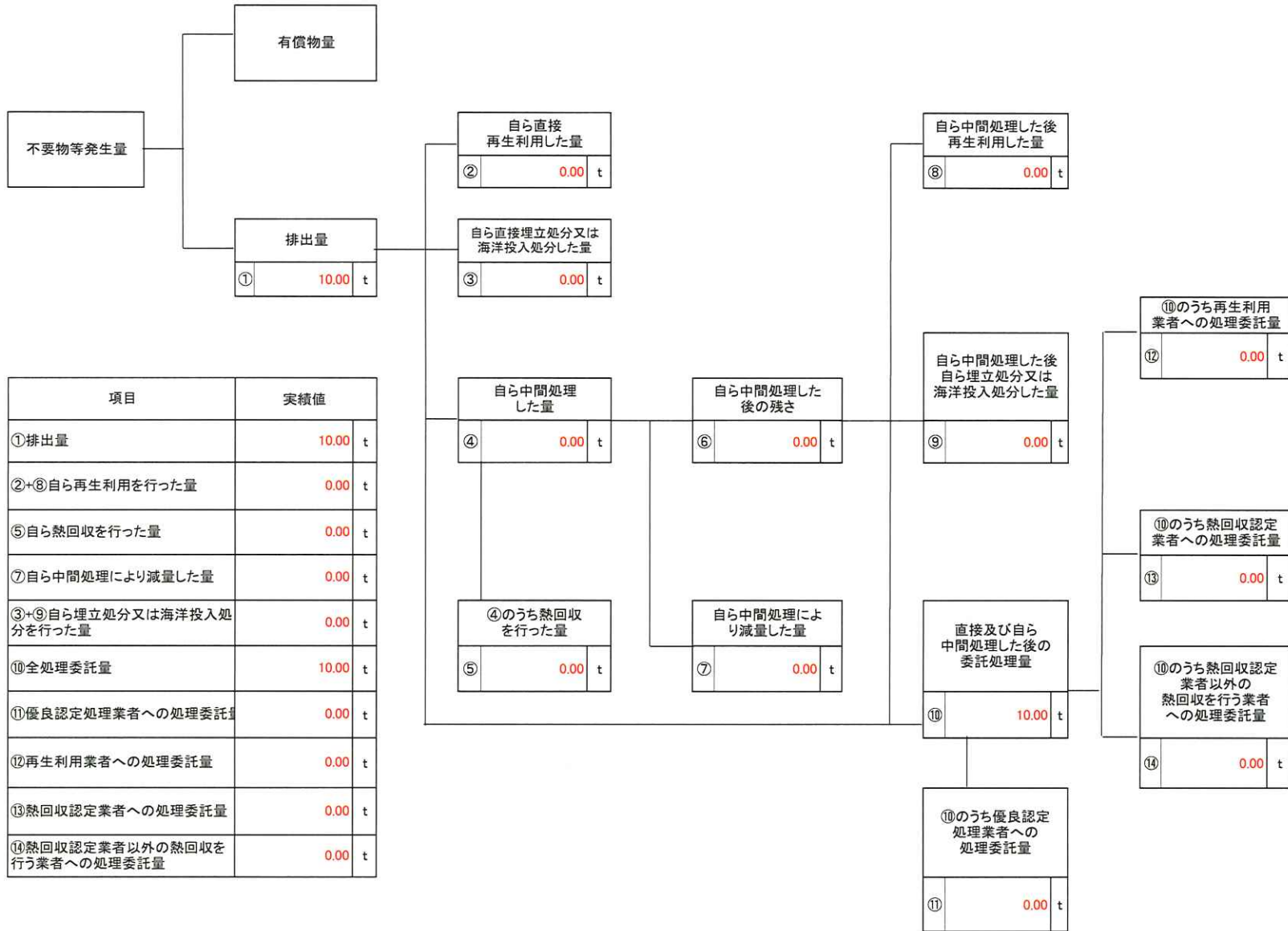
⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑪ 0.00 t



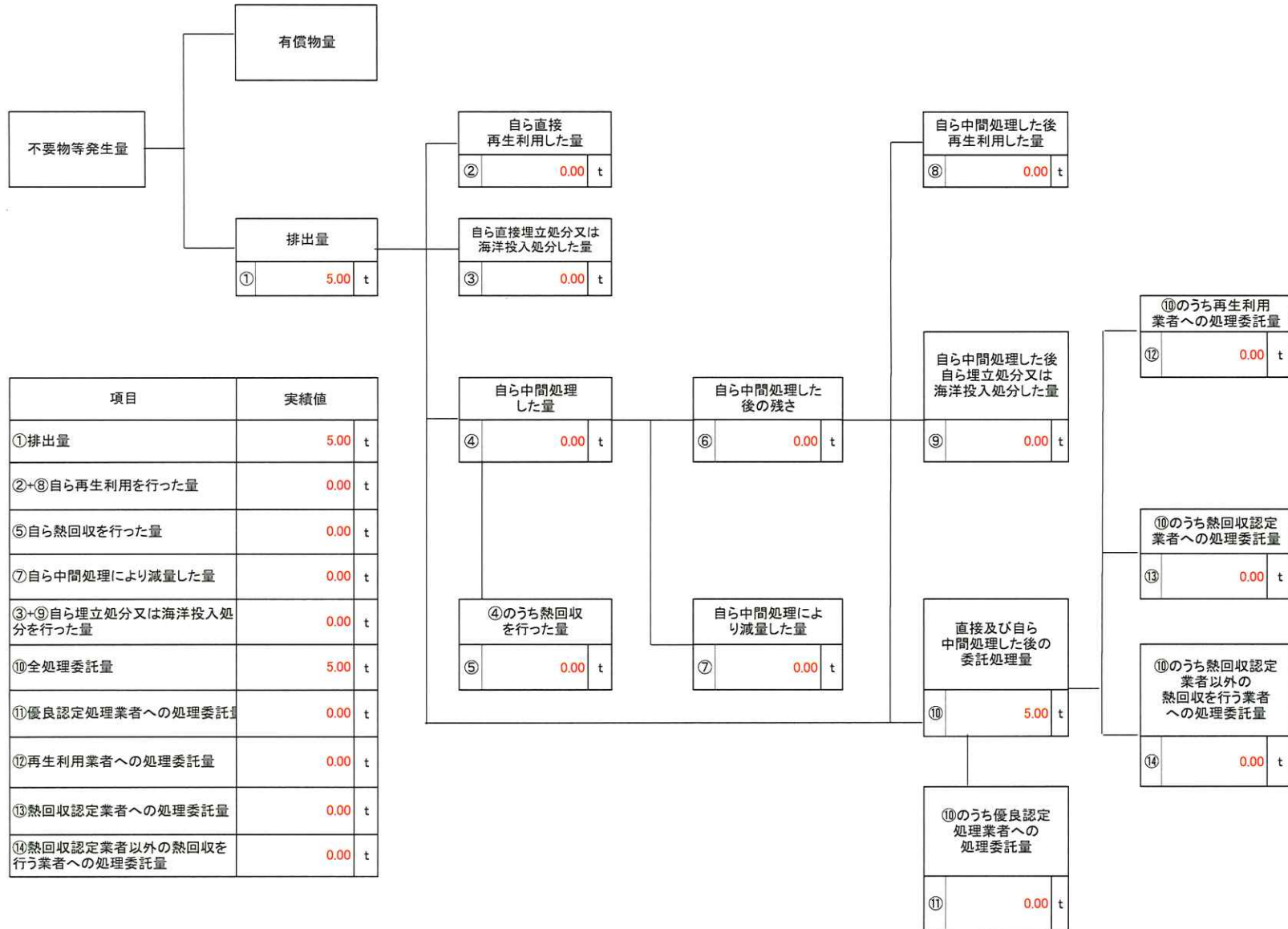
計画【目標】

(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)



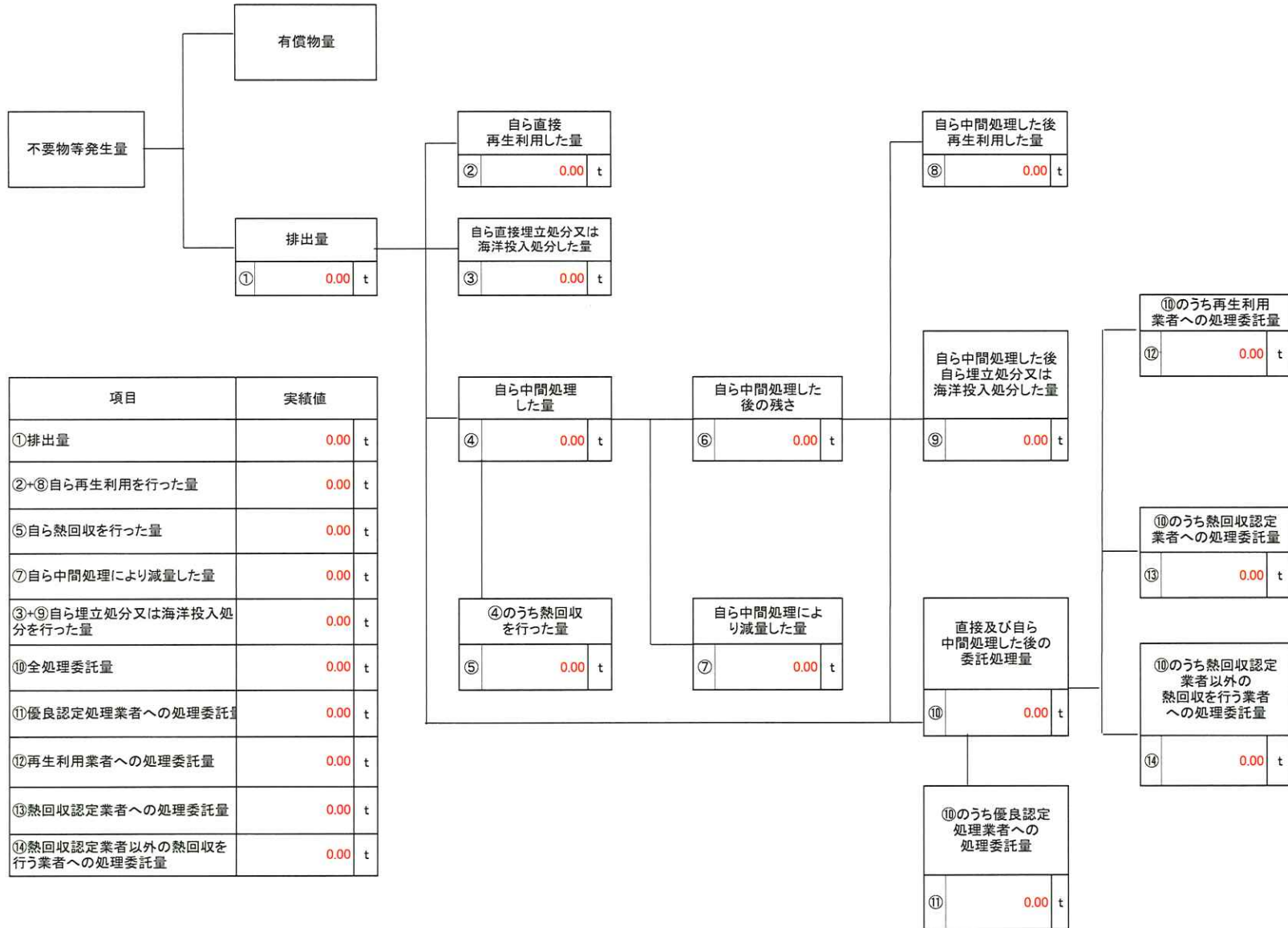
計画【目標】

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート陶磁器くず )



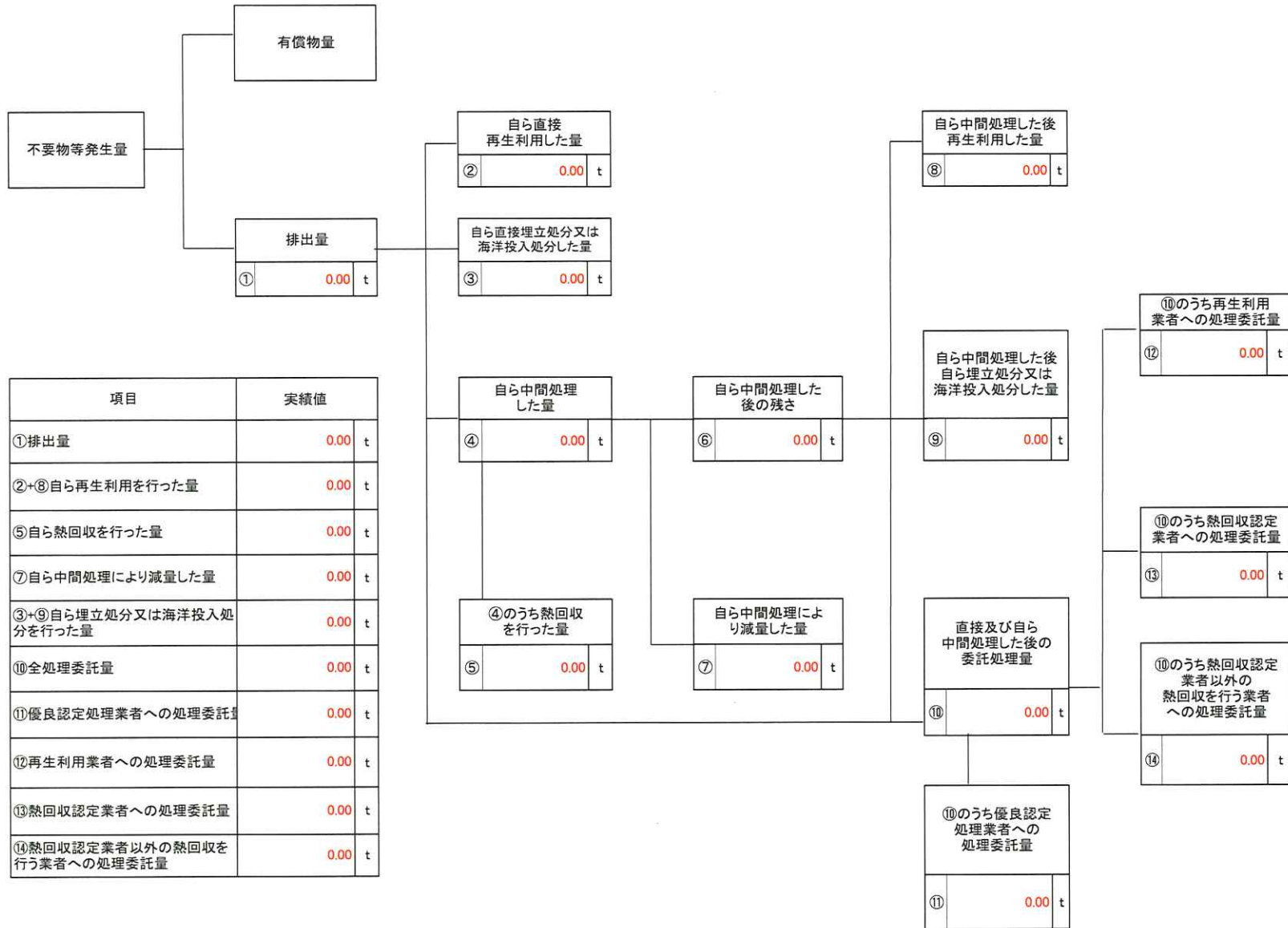
計画【目標】

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



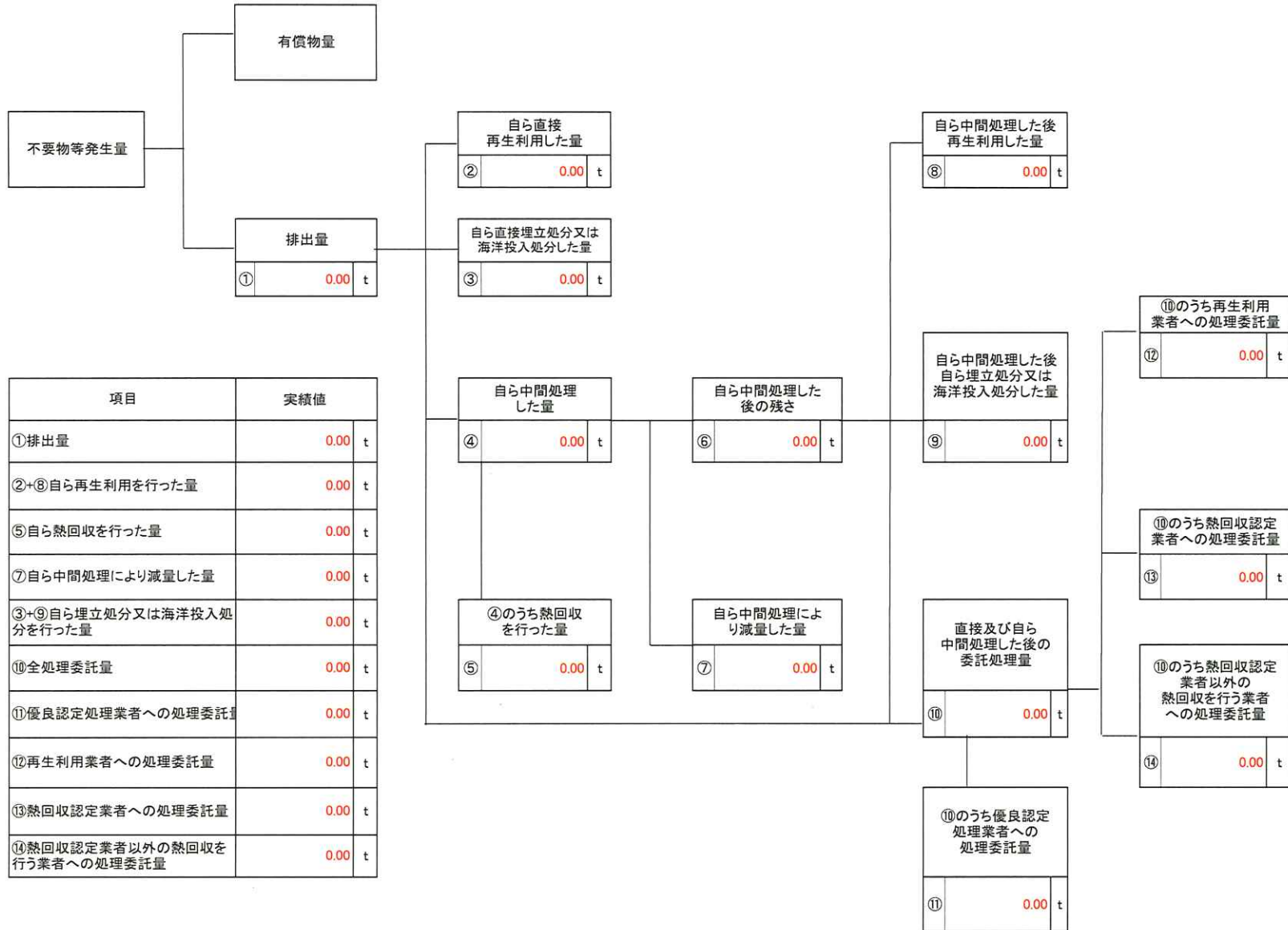
計画【目標】

(産業廃棄物の種類: 建設汚泥)



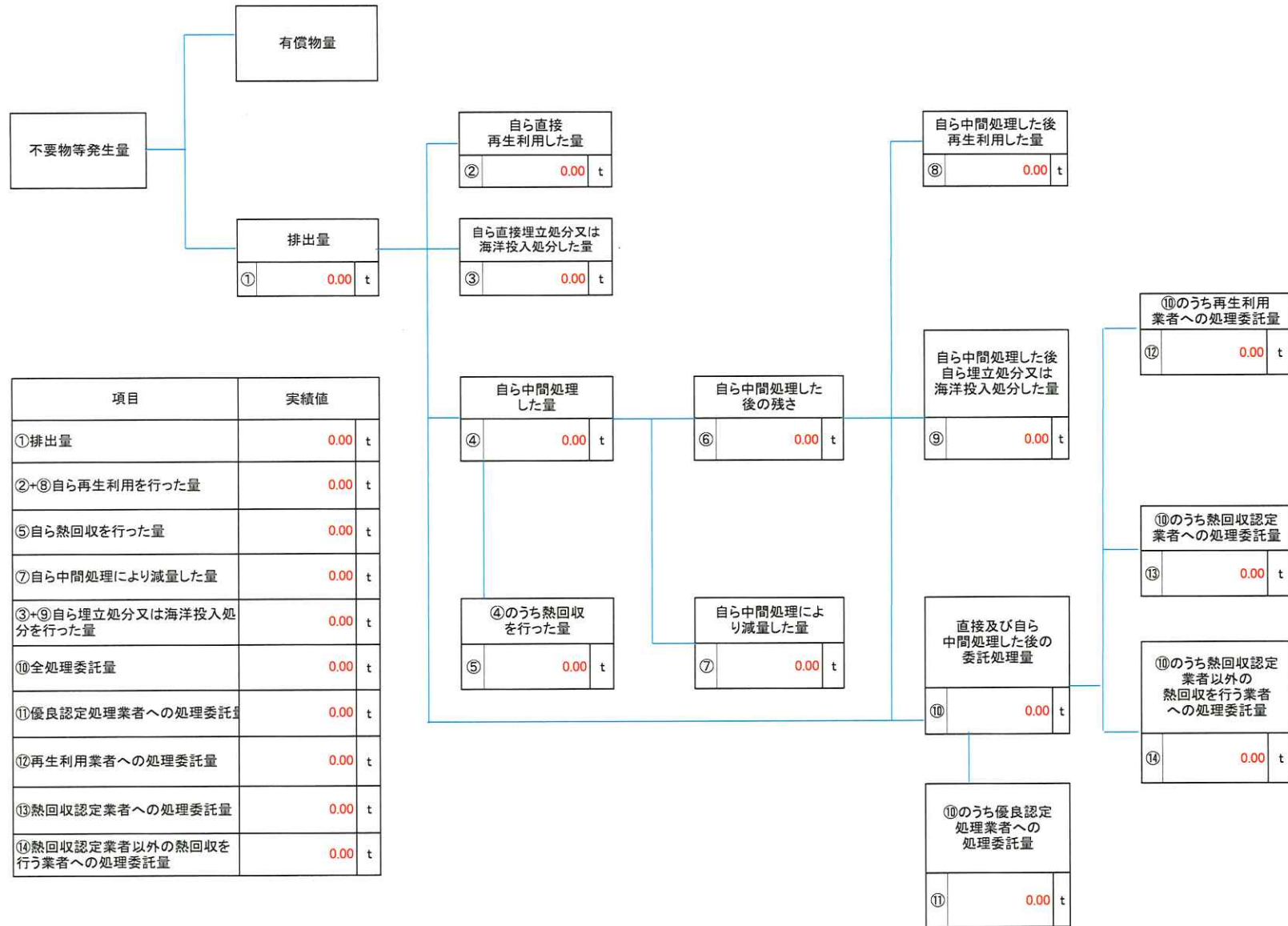
計画【目標】

(産業廃棄物の種類: 石綿含有廃棄物 )



計画【目標】

(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品産業廃棄物)





(第2面)

(第3面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項[illegible]

[illegible][illegible]